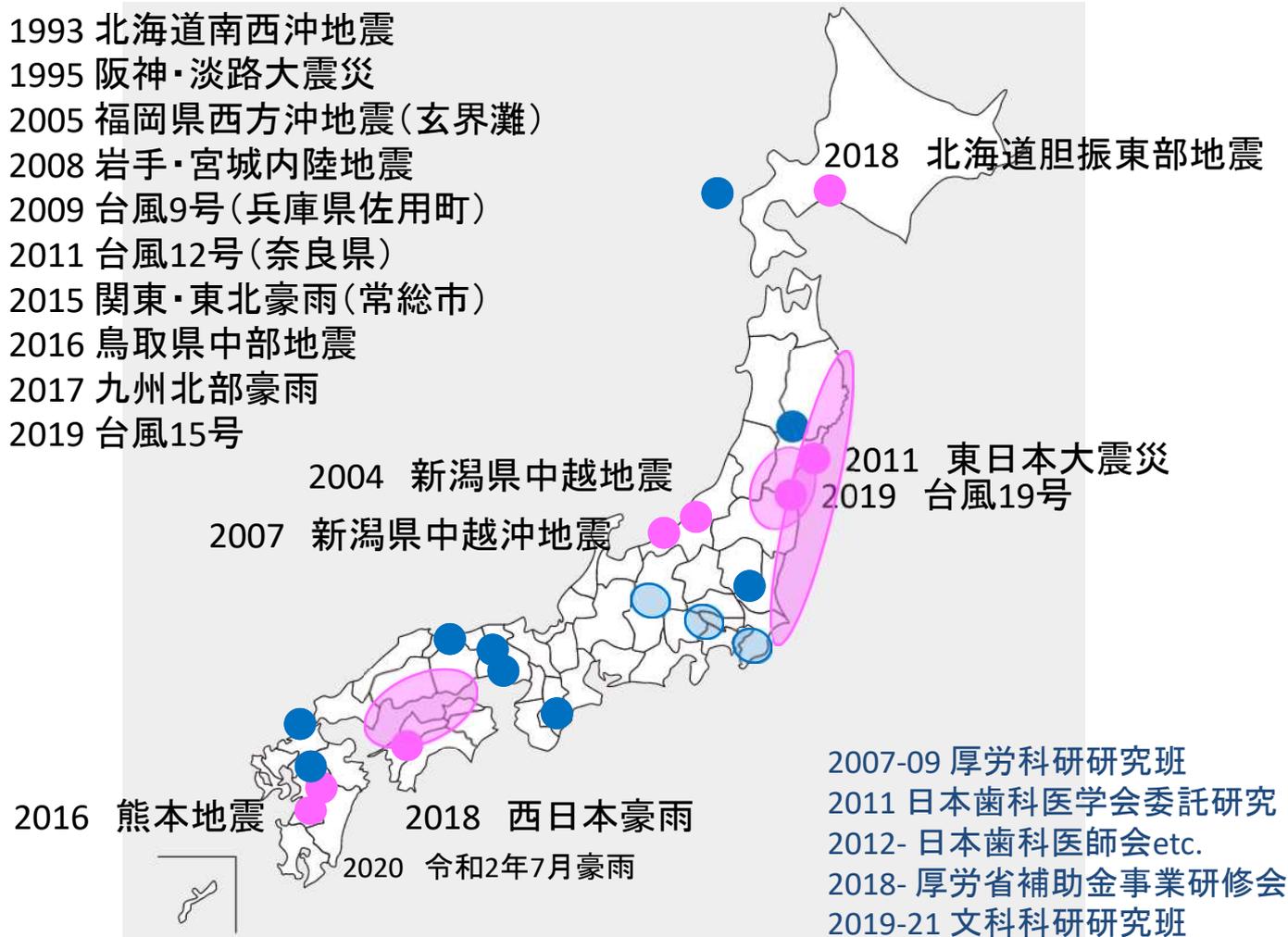


# 災害時の歯科保健医療支援の 必要性と体制整備

2022年2月12日(土) 15:05~15:45(うち講演40分)

オンライン配信(事前録画)

東京医科歯科大学 救急災害医学分野 非常勤講師(客員教授)  
東京医科歯科大学 災害・クリティカルケア看護学分野 非常勤講師  
東京都保健医療公社 大久保病院 歯科口腔外科 非常勤歯科医師  
千葉大学 大学院 医学研究院 法医学 特任研究員  
日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人  
中久木 康一  
nakakuki@biglobe.jp



**No taping, No Posting**

お顔、お口は



**本オンライン研修会における映像・音声の、  
撮影・録音・画面キャプチャーなどの保存は、  
禁止します**

**一部または全部を、無断で複製・二次利用・  
公開などする行為は、著作権法違反に  
問われる場合があります**

## 内容

- 災害時の歯科の役割と、歯科保健支援の必要性
- 災害時の地域保健体制における、歯科の特徴
- 歯科における全国統一した体制づくり

# 災害時の歯科保健医療の必要性

## 変遷と役割

### 災害時の歯科の役割

#### 身元 確認

- ご遺体の歯科的所見を採取する
- 生前歯科所見を収集する
- 照合して意見書を書く

#### 連携先

警察  
海上保安庁  
監察医  
など...

#### 歯科 医療

- 歯科医療提供体制を継続・なるべく早く復旧する
- **新たなニーズに対する応急歯科対応をする(救護所・避難所など)**

災害拠点Hp  
DMAT/JMAT  
日本赤十字社  
災害医療Co  
など...

#### 歯科 保健

- 地域の歯科保健管理を継続する
- **新たなニーズに対する歯科保健活動を行う(避難所・介護福祉施設・仮設住宅など)**

自治体/保健所  
保健センター  
地域の事業所  
地域包括支援センター、など...

# 災害時の歯科の役割(1)

## 1985, 日本航空123便墜落事故

犠牲者 520名

## 1993, 北海道南西沖地震

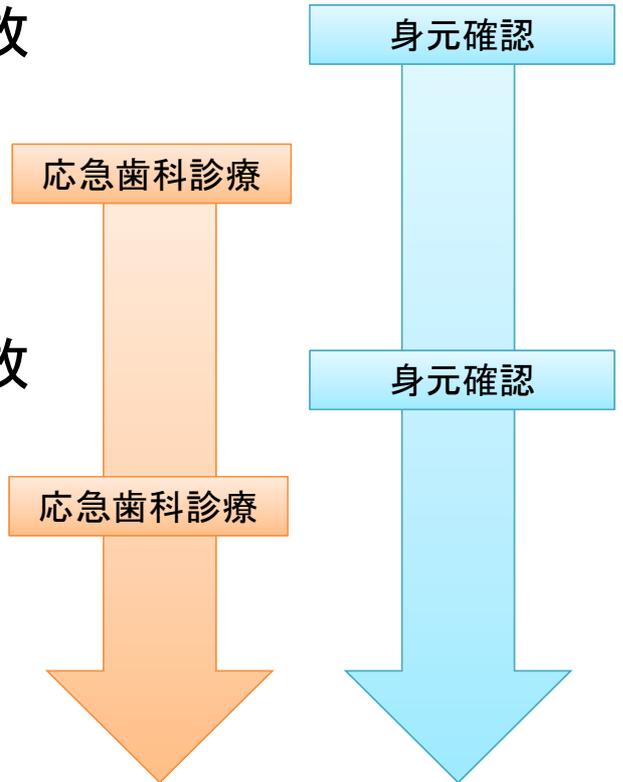
北海道医療大学により、奥尻島の津波犠牲者に対する即時義歯治療が提供された

## 1994, 中華航空140便墜落事故

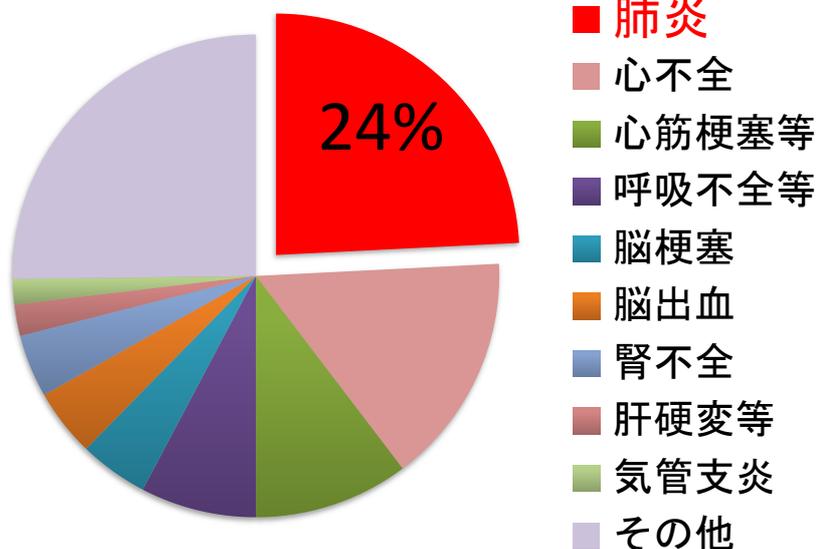
犠牲者 264名

## 1995, 阪神淡路大震災

歯科大学、歯科医師会、病院歯科が連携して2か月半に渡って応急歯科診療を提供した



# 阪神・淡路大震災における災害関連死



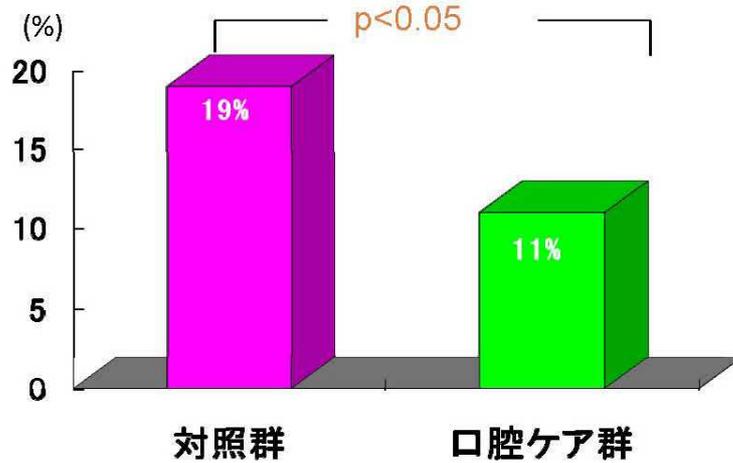
災害関連死: 921

全犠牲者数: 6402

神戸新聞, 2004.5.14

# 口腔ケアにより特別養護老人ホーム における肺炎の発症率が低下した

2年間の肺炎発症率

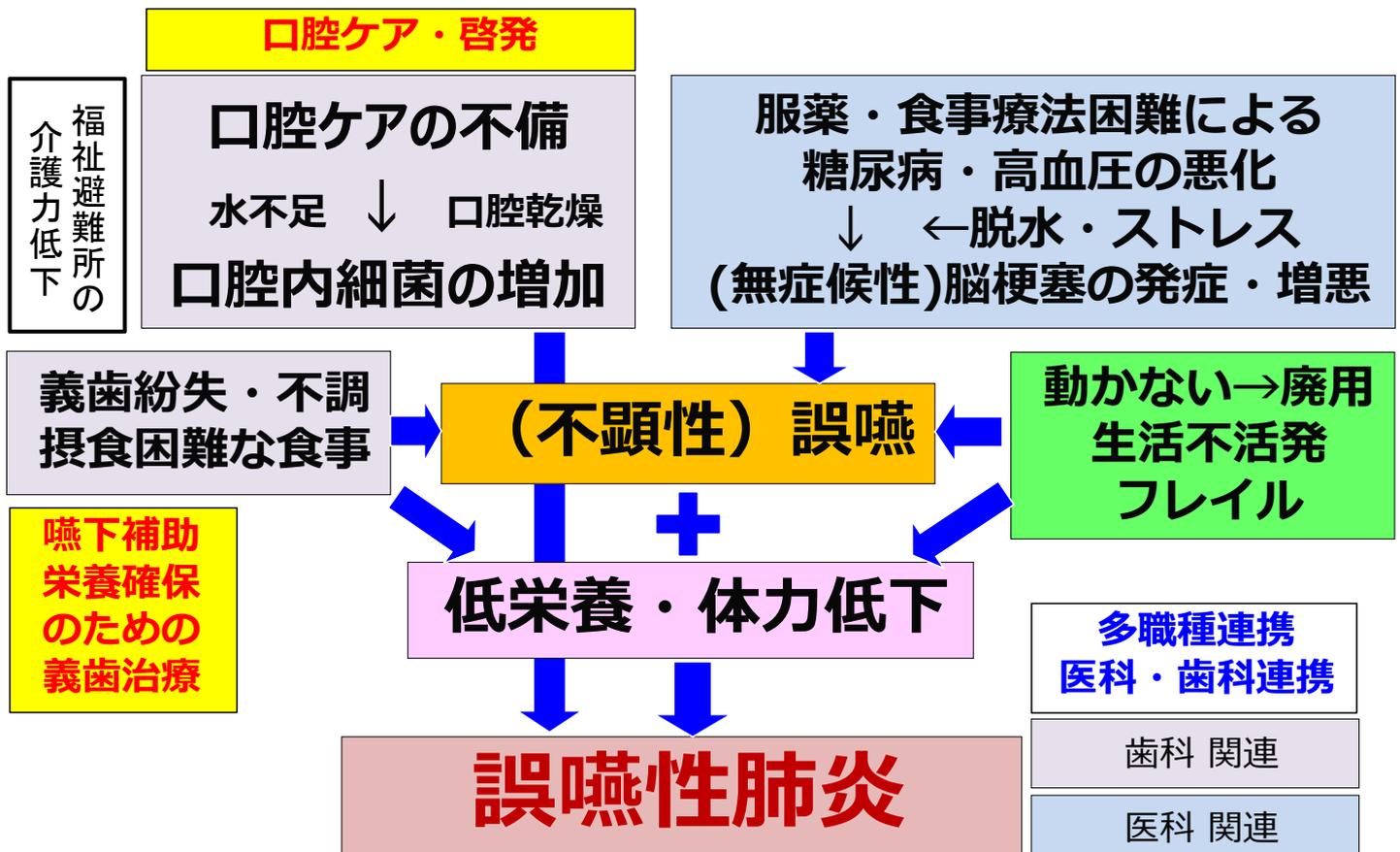


Lancet  
1999

Yoneyama T, Yoshida Y, Matsui T, Sasaki H : Lancet 354(9177), 515, 1999.

特に高齢者や障害者などの要支援者に対して、  
口腔ケアが提供されるようになった

## 災害時肺炎の成因



# 阪神・淡路大震災 新潟県中越地震

犠牲者

6,434

68

震災関連死

921 (14.3%)

52 (76.4%)

震災関連死  
における肺炎

223 (24.2%)

8 (15.3%)

仮設住宅孤独死者数 233  
復興住宅孤独死者数 717

75歳以上: 6名  
(平均年齢86.8歳)

## 災害時口腔ケアの実際

1

歯ブラシ、歯間ブラシ  
による清掃指導



口腔清掃が不十分だと、歯周病や口内炎などを発症したり、症状が悪化するため、少量の水でも出来るうがいや、歯みがきなどの指導を行います

2

児童に対する  
食事指導



支援物資には菓子パンやお菓子なども多いため、間食指導・歯みがき指導により食生活の平常化を目指します

3

高齢者に対する  
入れ歯の洗浄、補水指導



高齢者の避難所生活では、入れ歯の清掃不足、水分補給の不足による脱水、不十分な食事による体力低下などで、呼吸器疾患など様々な疾患にかかりやすくなるため、予防のための指導を行います

4

集団に対する  
啓発活動



個別の指導とともに、掲示物やパンフレットなどを通じて、被災者の方々が適切な生活習慣を取り戻せるよう、サポートを行います

歯周病の悪化、う歯の発生、口内炎、発熱(誤嚥性肺炎)などの予防

# 被災地域・避難所での 口腔ケア活動

## 避難所の巡回



## 仮設住宅の巡回 (1ヵ月後～)



※ 自宅の要援護被災者も含む

### 歯科保健医療 関係者

- 歯科医師会
- 歯科衛生士会
- 歯科技工士会
- 自治体歯科保健担当者
- 歯科大学
- 歯科衛生士／歯科技工士養成校
- 地域歯科関係者

## 福祉避難所の巡回



## 中長期的支援活動 (～数年間)



大規模災害発生時における歯科保健医療の役割(厚生労働科学研究費補助金「大規模災害時における歯科保健医療の健康危機管理体制の構築に関する研究」研究班)

## 災害時の歯科の役割(2)

### 2004, 新潟県中越地震

全犠牲者 68名のうち、災害関連死52名、うち肺炎8名 (15%)

口腔ケア

応急歯科診療

### 2007, 新潟県中越沖地震

犠牲者15名

口腔ケア

応急歯科診療

### 2011, 東日本大震災

全犠牲者2万名以上のうち  
災害関連死3089名  
直後の避難者47万人

口腔ケア

応急歯科診療

身元確認

# 呼吸器疾患＝災害関連死の30%

1995

阪神淡路  
大震災

33.7%

310 / 922

2004年4月14日  
神戸新聞

2004

新潟県  
中越地震

23.1%

12 / 52

2009年10月21日  
消防庁発表

2011

東日本  
大震災

31.3%

86 / 275

2021年3月13日  
河北新報, 帝京大学  
(石巻市)

2016

熊本地震

28.4%

56 / 197

2017年12月末現在  
熊本県まとめ

災害関連疾病の予防を目的とした災害時  
要配慮者等に対する**健康支援活動が重要**

歯みがきと  
ブクブクうがいで  
肺炎を  
予防しましょう！



公益社団法人 日本歯科衛生士会

## うがいをしましょう

口の周りの筋肉は思ったよりも衰えている方が多いものです。「うがい」をすることで唇・頬・舌の力が鍛えられます。毎日することですから継続しやすく簡単です。自分には早いと思っている人も、予防のために是非お試しください。



右の頬で音を出し  
ブクブク 10回



左の頬で音を出し  
ブクブク 10回



両方音を出して  
ブクブク 10回

- しっかりと唇が閉じて水が口から漏れませんか？
- 水がのどに入ってムセませんか？
- ブクブクと大きな音が出ましたか？
- 30回うがいすると疲れませんか？

毎日続けて行うことで咀嚼力（噛む力）や  
嚥下力（飲み込む力）を保つことができます。

災害・避難所生活でも  
**むし歯にも負けない!!**  
 避難所生活が長期間続く子どもたちのむし歯もできやすくなります。  
 子どもたちのお口の健康も守りましょう

復興へ向け、健康が大事!!  
 それには、お口の健康がキープポイント!!

気をつける3つの約束  
 食事は決められた時間に! 早寝・早起きを!  
 規則正しい生活を!

甘いおやつ・お菓子をだらだら食べをしない!  
 時間を決めて食べようね

歯みがきができなかったら  
 食後にキシリトールガム  
 シュガーレスガムをよく噛む!!

緊急時の**簡単!お口のケア方法!!**

**水が少ない、または使えない場合の歯みがき方法**  
 コップに少量の水や洗口液(デンタルリンス)を入れ、歯ブラシをその水で洗いながら歯を磨きます。  
 ※洗口液の代わりにイソジンガーゼを数滴加え、お水で磨くのも有効です。

うがいは、1度に多量の  
 水を使うのではなく、  
 2回に分けて強めにブク  
 ブクするほうが効果的!

【入れ歯のケア】毎食後、口から外して、歯磨き用のスポンジや使い捨てのおしぼりを使い洗ってください。

口呼吸をしない!  
 口呼吸はお口が乾燥するだけでなく、ウイルスやほこりが口から入ることで病気になりやすくなります。

【口呼吸改善方法】  
 「あー」「いー」「うー」「べー」と言いながら大きく口を動かして、特に「べー」は思いっきり舌を前に出します。  
 1日3回、10回繰り返すだけで、口周りの筋肉が鍛えられるだけでなく、唾液も出ます。

**唾液をたくさん出す方法**  
 のどをキレイに保つには、唾液をたくさん出すことが重要!!  
 ※唾液には細菌の増殖を抑え殺菌作用、口臭予防にも有効です。  
 ※唾液を飲み込むことで、お口のpH値低下を促します。

**唾液を出す方法**  
 唾液は舌や喉を動かすことで出せます。  
 ●舌をゆっくり前に伸ばし、元に戻してください。  
 ●下あごの骨の内側に親指を当て、後ろから前に押しながら動かすと、唾液が出ます。

**水不足により歯みがき、うがいが不十分となり口の中の細菌が増殖します。**  
 震災関連死の中で、最も多かったのが肺炎。肺炎の多くが細菌性肺炎と考えられています。  
 避難所での劣悪な環境に加え、極端な水不足からお口の清潔状態が悪くなり、避難生活で体力が低下し、口の中の細菌を抑制し、細菌性肺炎につながったと考えられています。

子どもたちの笑顔とともに—— 一般社団法人 日本小児歯科学会 <http://www.jspd.or.jp/>

お口のケアで、健康づくりを。



**災害** 時は、過度のストレスや緊張から唾液が減り、水の不足等によって生活が乱れ、口腔ケアがおろそかになりがちです。

**口腔** 内を清潔に保てないと、誤嚥性肺炎などの呼吸器感染症を引き起こしやすくなります。

**毎日** の生活から、ていねいな口腔ケア(歯磨き、うがい)や入れ歯の清掃を心がけることが、災害時への備えになります。

口腔ケアは、歯周病の悪化や口内炎、発熱(肺炎)の予防になります。



神奈川歯科大学大学院 横須賀・湘南地域災害医療歯科学センター  
 文科省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業S1203004 (平成24年～平成26年)

災害時の歯科保健医療の必要性

# 緊急性と継続性

# 災害後の体調不良

呼吸器感染症、  
胃腸炎等の  
急性疾患  
(発災～1ヶ月)

直後に多い！  
だんだん減ってくる

しばらくたってから  
だんだん増えてくる

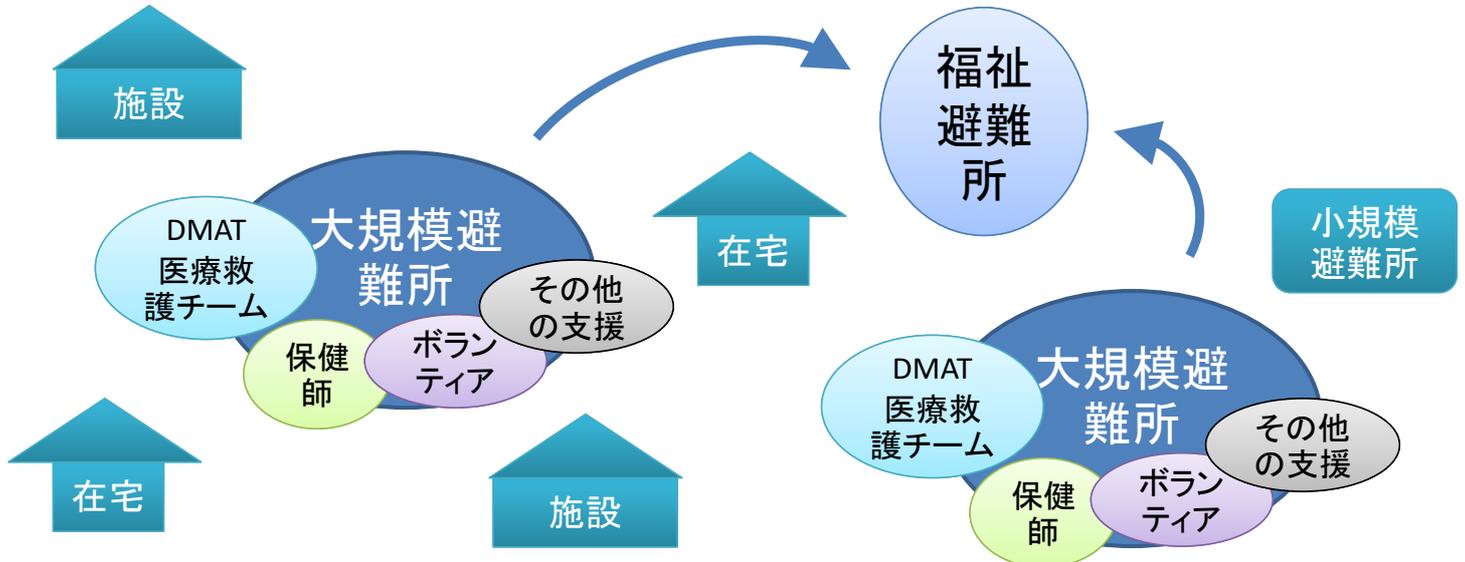
高血圧、腰痛、  
皮膚炎、不眠症等の  
慢性疾患  
(発災後1ヶ月～)

## 歯科支援で最も緊急なもの？

- 遺体の身元確認も大切. でも**生きている人が生き延びることはもっと大切.**
- 義歯がなくて食べられない人に義歯をつくるのも大切. でも義歯がなくても安全に栄養摂取できるものを供給し, **二次被害を起こさないようにするケア(誤嚥性肺炎予防の口腔ケア)**はもっと大切.

# フェーズ0から保健が必要な人は？

- ・ ライフラインが断たれ、介入が断たれた、在宅・在施設の要援護者



## 災害時要配慮者（要援護者）

平成25年6月 災害対策基本法改正

### 災害時要配慮者

防災施策において特に配慮を要する方（要配慮者）

高齢者・有病者  
身体・知的・精神障害者  
乳幼児・妊産婦  
外国人  
旅行者  
等

### 避難行動要支援者

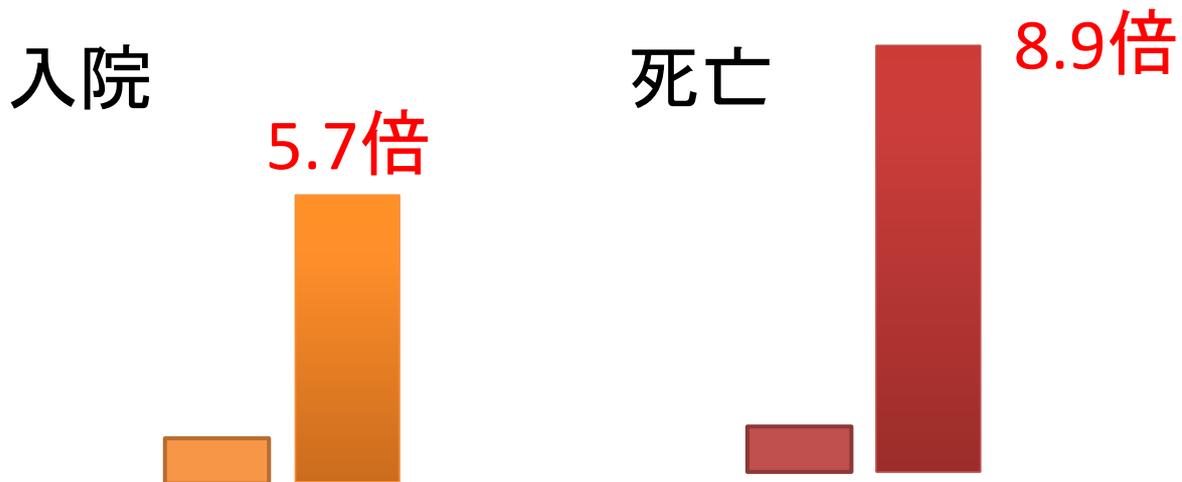
災害発生時の避難等に  
特に支援を要する方  
避難行動要支援者名簿の  
作成を義務付け

令和3年5月 災害対策基本法改正

個別避難計画の作成努力義務

# 肺炎の発生率は、3カ月間有意に増加

最大の増加を示したのは震災後2週間



- 90%は65歳以上の高齢者
- 避難所・介護施設からの入院患者数が多かった
- 死亡率は、介護施設からの入院は45%！

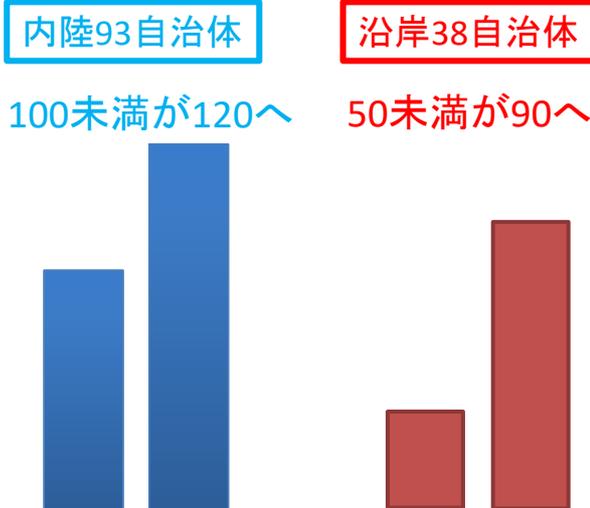
Daito H, et al., Impact of the Tohoku earthquake and tsunami on pneumonia hospitalisations and mortality among adults in northern Miyagi, Japan: a multicentre observational study. Thorax. 2013 Jun;68(6):544-50. doi: 10.1136

## 地震は肺炎による死亡のリスクを増加させる 津波はそのリスクをさらに増加させる

Shibata Y, Ojima T, Tomata Y, et al. Characteristics of pneumonia deaths after an earthquake and tsunami: an ecological study of 5.7 million participants in 131 municipalities, Japan. BMJ Open. 2016 Feb 23;6(2):e009190

- 岩手・宮城・福島県の全131自治体における2010-2012の住民調査を使用
- 岩手・宮城・福島県における肺炎による死亡数は地震後3県において増加

### 前後1年の肺炎死数



- 1年後の肺炎による死亡数は、1年前のものに比べて1.14倍

### 標準化死亡比

- 第1週目から第12週目にかけて、有意に増加。2週目から4週目は、沿岸部自治体において2倍に近く高かった。
- 2週目における標準化死亡比は沿岸部自治体2.49 (95% CI 2.02 to 7.64)、内陸部自治体1.48 (95% CI 1.24 to 2.61)であった。沿岸部自治体の標準化死亡比は内陸部よりも高かった。

# 災害時の口腔ケア

時期	対象	場所	問題点	内容	対応者
超急性期 ～急性期	有病者	病院	易感染性	徹底した 個別口腔ケア の提供	看護師, 歯科衛生士, 歯科医師, など
超急性期 ～中長期	要配慮者	福祉避難所/ 高齢者・障害者 施設	介護力ダウン, ライフライン ダウン	個別口腔ケ ア・指導, 口腔ケア用品 の提供	歯科衛生士, 歯科医師, 言語聴覚士, 介護福祉士, など
		在宅	孤立(情報 不足, 交通 手段不足)		
急性期 ～慢性期	一般	避難所	環境の不備 (洗面所, う がい水, な ど)	口腔ケアの啓 発, 口腔ケア用品 の提供	歯科衛生士, 歯科医師, 保健師, など
慢性期 ～中長期	一般 要配慮者	応急仮設住宅 災害公営住宅	孤立(情報 不足, 交通 手段不足)	口腔ケアの啓 発, 口腔機能 の維持・向上	歯科衛生士, 保健師, など

「歯科医院の防災対策ガイドブック」医歯薬出版 より改変

## 内容

- ・ 災害時の歯科の役割と、歯科保健支援の必要性
- ・ 災害時の地域保健体制における、歯科の特徴
- ・ 歯科における全国統一した体制づくり

平成29年7月5日

# 大規模災害時の保健医療活動にかかるとの体制の整備について

## 保健医療調整本部

## 被災地に派遣される医療チームや保健師チームなどを全体としてマネジメントする機能

科発0705第3号  
医政発0705第4号  
健発0705第6号  
薬生発0705第1号  
障発0705第2号  
平成29年7月5日

各都道府県知事 殿

厚生労働省 大臣官房厚生科学課長  
医政局長  
健康局長  
医薬・生活衛生局長  
社会・援護局障害保健福祉部長  
(公印省略)

大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について

大規模災害時の被災者に対する保健医療活動に係る体制については、これまで、「災害時における医療体制の充実強化について」(平成24年3月21日医政発0321第2号厚生労働省医政局長通知。以下「平成24年医政局長通知」という。)等により整備がなされ、救護班(医療チーム)の派遣調整等については平成24年医政局長通知に基づく派遣調整本部、被災都道府県における保健衛生活動を行う保健師チーム等の派遣調整については各都道府県の担当課が行ってきたところである。

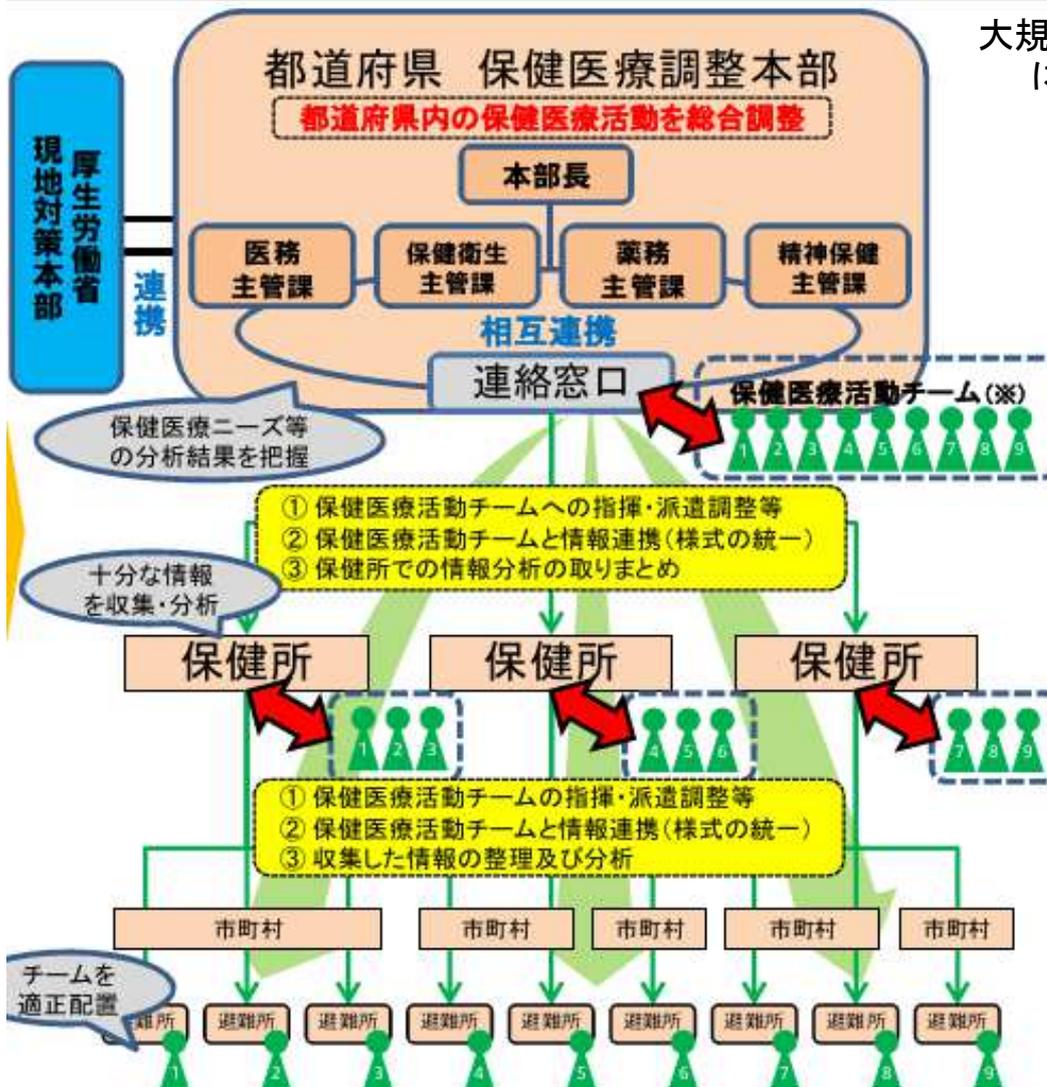
平成28年熊本地震における対応に関して、内閣官房副長官(事務)を座長とする平成28年熊本地震に係る初動対応検証チームにより取りまとめられた「初動対応検証レポート」(平成28年7月20日)において、医療チーム、保健師チーム等間における情報共有に関する課題が指摘され、今後、「被災地に派遣される医療チームや保健師チーム等を全体としてマネジメントする機能を構築するべきこととされた。

こうした点を踏まえ、各都道府県における大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備に当たり、保健医療活動チームの派遣調整、保健医療活動に関する情報の連携、整理及び分析等の保健医療活動の総合調整を行う保健医療調整本部を設置することとした。

## 大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について

科発0705第3号  
医政発0705第4号  
健発0705第6号  
薬生発0705第1号  
障発0705第2号  
平成29年7月5日

厚生労働省 大臣官房厚生科学課長  
医政局長  
健康局長  
医薬・生活衛生局長  
社会・援護局障害保健福祉部長



- (※) 凡例**
- 保健医療活動チーム( DMAT、 JMAT、 日本赤十字社の救護班、 国立病院機構の医療班、 **歯科医師チーム**、 薬剤師チーム、 看護師チーム、 保健師チーム、 管理栄養士チーム、 DPAT等)

# 災害医療コーディネーター

徳島県災害医療コーディネーターについて

秋田  
栃木  
群馬  
千葉  
埼玉  
滋賀  
鳥取  
山口  
徳島  
高知  
沖縄

## 1. 災害医療コーディネーターの追加指定

各災害拠点病院に災害医療コーディネーターを設置しているが、多くのコーディネーターがDMATと重複しているため、災害発生直後からコーディネーター業務に従事することが困難である。そのため、各災害拠点病院に追加でコーディネーターを委嘱する。

また、今回の追加指定に併せて、県内医療機関の状況を熟知している県医師会等にも災害医療コーディネーターの委嘱を行うこととする。

## 2. 追加委嘱を行う機関

- ・各災害拠点病院
- ・徳島県医師会
- ・徳島県歯科医師会<専門分野（歯科）>
- ・徳島大学病院<専門分野（在宅酸素）>

歯科 11県  
2019年12月現在

## 保健所に歯科は少ない！

- ・歯科医師の85.9%は診療所
- ・県型保健所への歯科の配備は28.6%  
（歯科医師3.5%、歯科衛生士25.1%）
- ・市町村への歯科の配備は16.5%  
（歯科医師0.4%、歯科衛生士16.5%）

災害時の保健医療活動を円滑に進めるためには、  
歯科支援チームと連携した体制構築が必要

# マニュアルがあっても、行政歯科職は動けない

- 県として「災害時保健衛生活動マニュアル～歯科口腔保健編～」を作成していた
- しかし実際の災害時には、保健所からは諸般の専門職が現場へ出務していき、歯科専門職の出務は叶わなかった

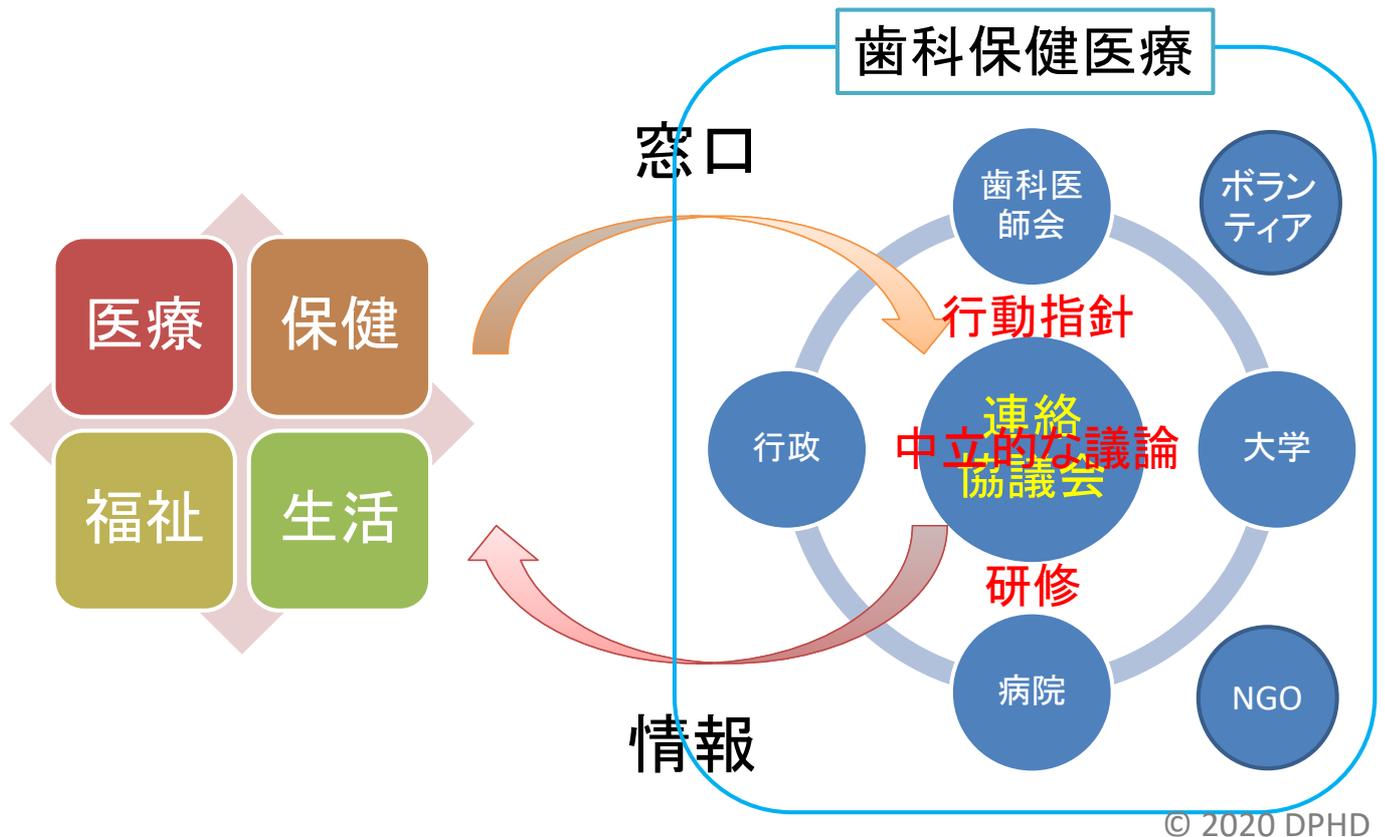
平成30年7月豪雨

## 内容

- 災害時の歯科の役割と、歯科保健支援の必要性
- 災害時の地域保健体制における、歯科の特徴
- 歯科における全国統一した体制づくり

# 災害歯科保健医療連絡協議会

2015年4月～



## 災害歯科保健医療連絡協議会

※平成27年4月設置

### <目的>

大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、(急性期から慢性期に)に至るまで、様々な歯科関係職種の継続的な支援が必要である。

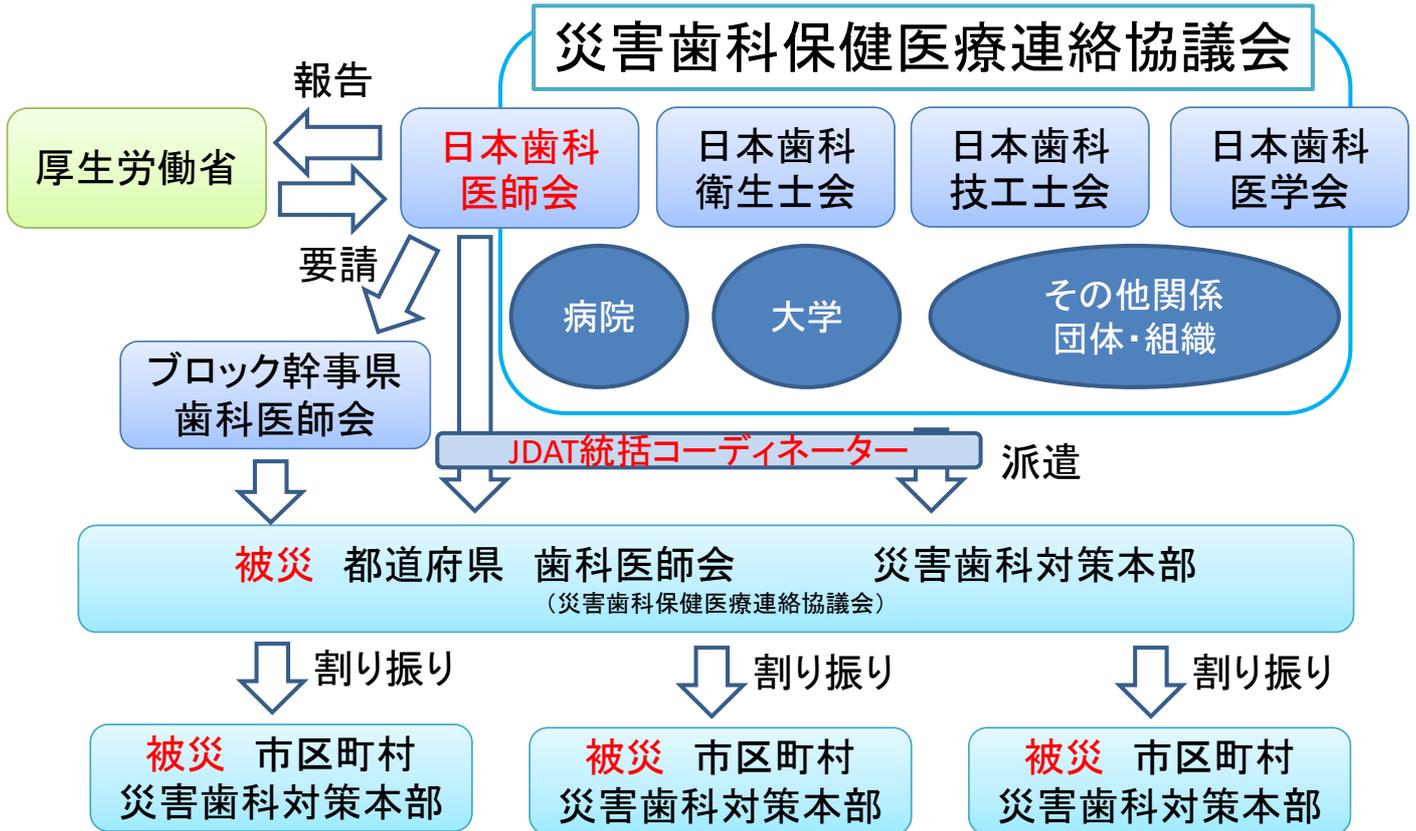
そのため、日本歯科医師会主導の下、歯科関係団体同士の連携や災害対応に関する認識の共通化を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の情報集約や共有を促し、有事に際して国や都道府県との連携調整を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うべく、協議していく。

### <参画団体>

- ①日本歯科医師会
- ②日本歯科医学会
- ③日本私立歯科大学協会
- ④国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議
- ⑤全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議
- ⑥日本病院歯科口腔外科協議会
- ⑦日本歯科衛生士会
- ⑧日本歯科技工士会
- ⑨全国行政歯科技術職連絡会
- ⑩日本歯科商工協会

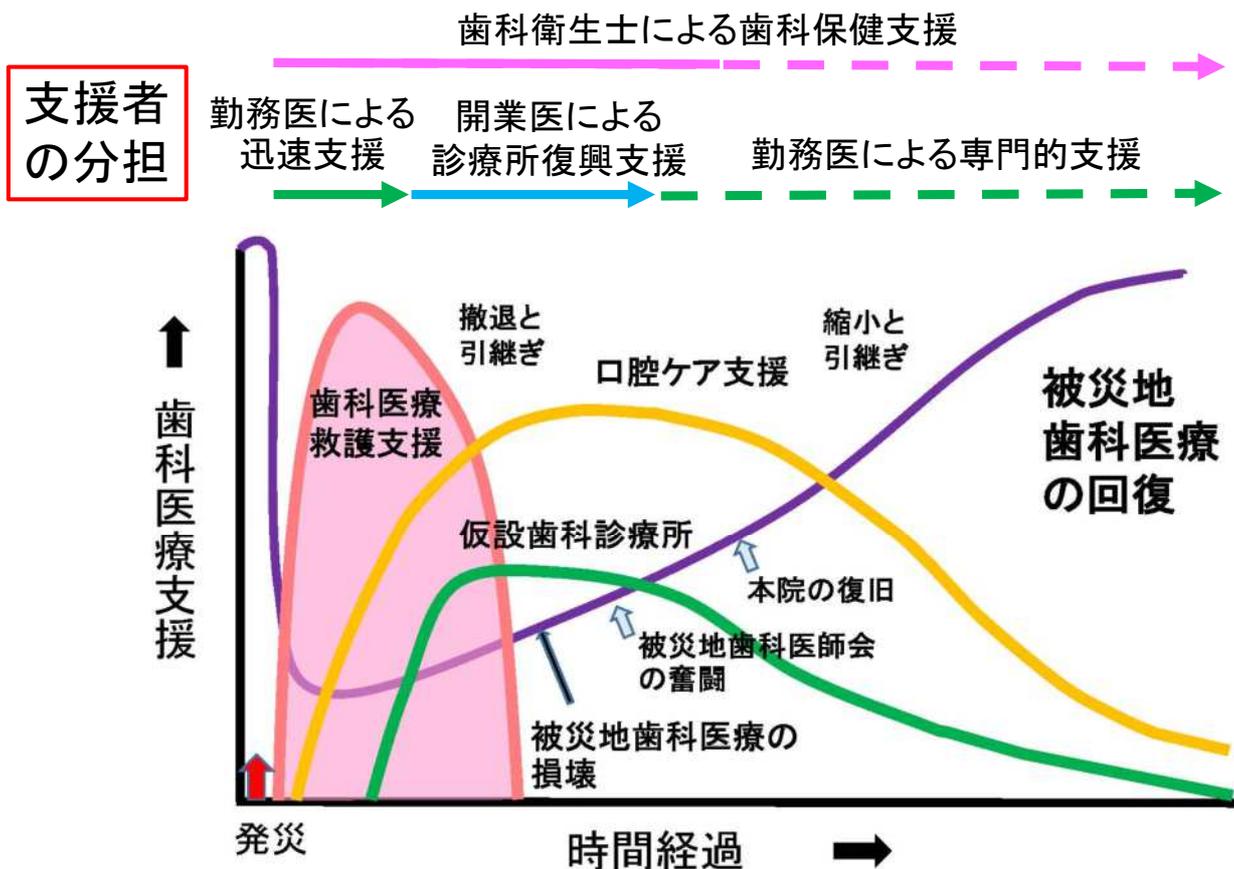
※オブザーバー: 内閣府、厚生労働省、日本医師会(JMAT関係者)、防衛省ほか

# 発災時の人的派遣の流れ



JDAT (Japan Dental Alliance Team: 日本災害歯科支援チーム) 活動要領(案), 2021年11月(予定)

# 支援内容の時間経過と、支援者における分担



大黒英貴, 災害歯科医学, P58, 医歯薬出版, 2018 より改変

# 歯科における連携

行政歯科職	マネジメント
歯科医師会	診療所の復旧を優先したうえで、地域へのマネジメント
大学歯学部 ( & 病院歯科)	迅速対応と歯科医療救護
派遣歯科専門職 & 歯科衛生士会	避難所等地域における歯科保健医療支援活動の実働
歯科衛生士会 & 大学歯学部	中長期的対応

歯科医療活動		歯科保健活動
今、困っている人	対象	今は、なんともない人
あり	本人のニーズ	なし
歯が痛い人 歯ぐきが腫れた人 通院中だった人 義歯破損・不適合の人	対象	特に重要なのは要配慮者 高齢者(摂食・嚥下障害など) 有病者(糖尿病など) / 障がい者 乳幼児・小児 / 妊婦
痛みをとる 適切に食事ができるようにする	目的	口腔感染症予防、むし歯予防、歯周病予防、誤嚥性肺炎予防
応急歯科診療 歯科受診への調整	やること	口腔ケア、口腔ケア啓発 お口の体操、健康教育
災害拠点病院 DMAT / JMAT 日赤 etc.	連携	自治体 保健所 保健センター etc.

## 地域保健医療体制の回復

歯科医院・病院歯科の再開

自治体の歯科保健サービスの再開

# 災害歯科保健体制研修会

- 厚労省補助金の災害医療チーム等養成支援事業として、日本歯科医師会が主導した災害歯科保健医療連絡協議会による研修会
- 1日目は座学やシンポジウムとPFA
- 2日目は午前・午後ともグループワーク、午前には「市町村レベルでの支援」、午後には「都道府県レベルでの受援におけるマネジメント」
- 2018年度は2回（東日本・西日本）、2019年度からは3回（東日本・中日本・西日本）、2020年度からはオンライン

## 災害歯科保健医療体制研修会 2019年度

（2018年度～，厚労省補助金 災害医療チーム等養成支援事業）

### 1日目

スケジュール	研修科目
10:30～10:35 ※5分	開会・挨拶
10:35～10:45 ※10分	研修の目的(オリエンテーション)
10:45～11:25 ※40分	災害歯科医療概論
11:25～11:55 ※30分	歯科災害派遣チームの実現に向けて
11:55～12:25 ※30分	災害時における歯科医師会の対応
12:25～13:30 ※65分	<休憩>
13:30～14:30 ※60分	【ディスカッション】国における災害対応 厚生労働省健康局健康課地域保健室長／厚生労働省医政局地域医療計画課災害時医師等派遣調整専門官／内閣府政策統括官(防災担当)付／防衛相統合幕僚監部首席後方補給官付／警察庁刑事局捜査第一課検視指導室／海上保安庁警備救援部刑事課刑事企画指導官 ※事前研修のおさらいを含め、災害対応に関するディスカッション
14:30～14:40 ※10分	<休憩>
14:40～16:10 ※90分	【講義・ロールプレイ】 心理社会的サポート
16:10～16:20 ※10分	<休憩>
16:20～16:50 ※30分	JMAT等との連携
16:50～17:20 ※30分	災害時における身元確認体制との連携
17:20	1日目閉会

### 2日目

スケジュール	研修科目
9:30～12:40 ※180分 (途中休憩10分)	【講義・演習】 被災市町村におけるコーディネーター
12:40～13:30 ※50分	<休憩>
13:30～16:40 ※180分 (途中休憩10分)	【講義・演習】 都道府県におけるコーディネーター
16:40～16:55 ※15分	総評、質疑
16:55	閉会・修了証交付

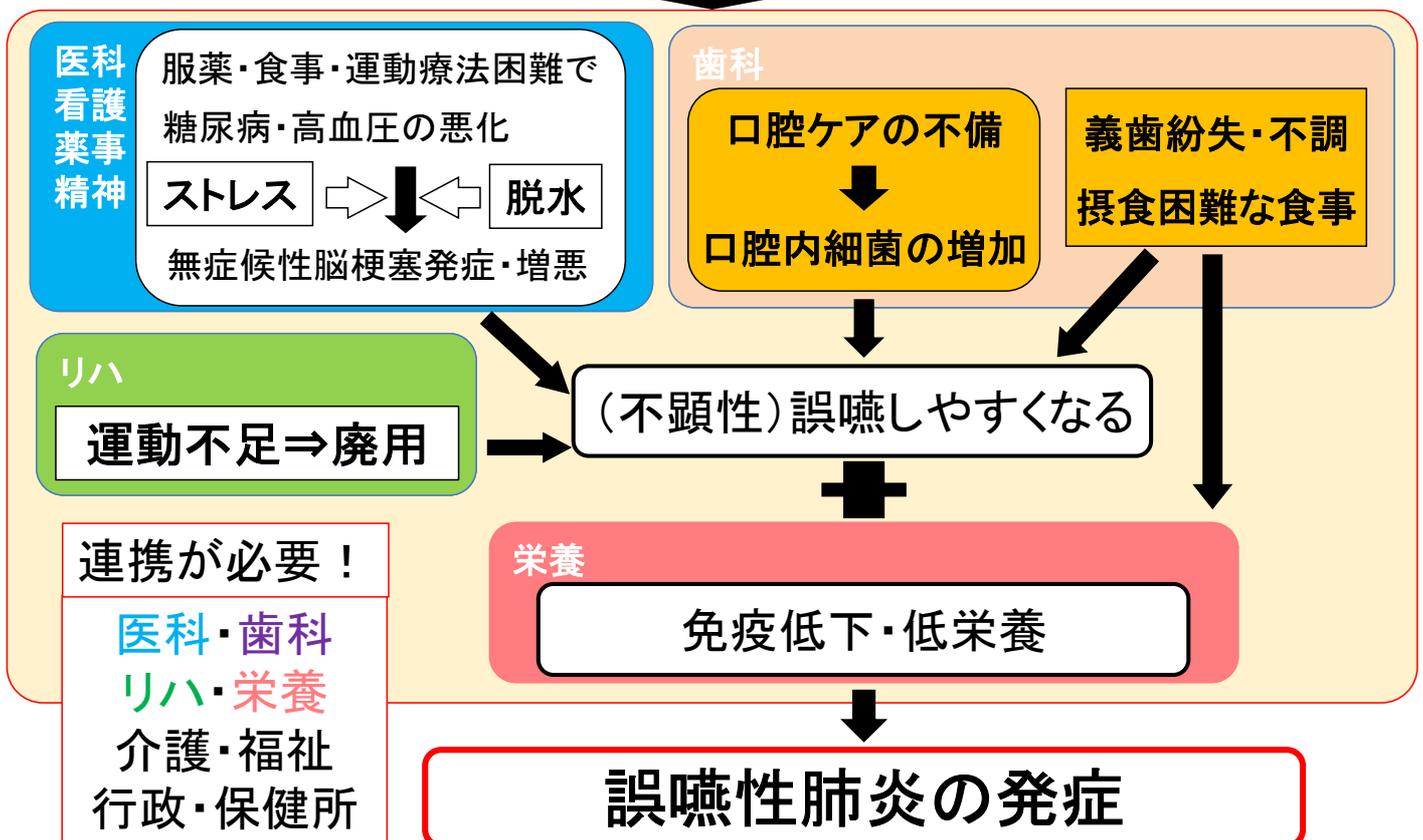
主催：日本歯科医師会  
（災害歯科保健医療連絡協議会 事務局）

# 災害歯科保健医療アドバンス研修会

(2020年度, 厚生労働省補助金 災害医療チーム等養成支援事業)

スケジュール		研修科目
9:30- 9:35	※5分	開会・挨拶
9:35- 9:50	※15分	研修の目的とゴール
9:50-10:30	※40分	経験した災害支援の中で、助けてもらった事務的業務の整理
10:30-11:00	※30分	行政における災害時体制と歯科医療者のロジスティクスの実際
11:00-12:00	※60分	災害医療ロジスティクス概論
12:00-13:00	※60分	<休憩>
13:00-13:15	※15分	現場で必要だった多職種連携のためのノンテクニカルスキル
13:15-13:35	※20分	クリティカルシンキング概論
13:35-13:55	※20分	ファシリテーション概論
13:55-14:50	※55分	【計画立案】クリティカルシンキングを活用して課題を整理し活動方針を立てよう!
14:50-15:10	※20分	<休憩>
15:10-15:40	※30分	リスクマネジメントとリスクコミュニケーション概論
15:40-15:50	※10分	災害歯科研修における連携づくりの事例
15:50-16:40	※50分	【ディスカッション】それぞれの地区・組織における、多職種との連携における課題
16:40-16:55	※15分	質疑
16:55-17:00	※5分	事務連絡・閉会

災害時の環境： ライフライン不備、食糧・水不足、睡眠・トイレ不足



# 避難所生活で健康に過ごすために

～以下の点にご注意ください～

水分・塩分補給

食中毒注意

うがい  
歯みがき

マスク着用

## ① 水分・塩分補給をこまめに

トイレを気にして水を飲む量が減りがちです。こまめな水分・塩分補給で熱中症予防をしましょう。

## ② 手を清潔に

食事の前やトイレの後には手洗いを。流水が使えないときは、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。

## ③ 食中毒に注意!

出された食事はすぐに食べましょう。下痢、発熱、手指に傷がある人は、調理や配食を行わないようにしましょう。

## ④ 体の運動

エコノミークラス症候群の予防、寝たきりの予防のためにも積極的に体を動かしましょう。

## ⑤ うがい・歯磨き

うがい、歯磨きをできるだけ行い、かぜの予防、口の中の衛生を保ちましょう。

## ⑥ 十分な睡眠・休息

誰もが不安を感じています。休息や睡眠を意識してとりましょう。

## ⑦ 必要なときにはマスクを着用

咳をしているときや、アレルギーの原因となるほこりを避けるために、必要なときにはマスクを使いましょう。

## ⑧ 薬で困っている場合は相談を

薬が手元になかったり、薬で困っているときは、医師、薬剤師、保健師などに相談を。

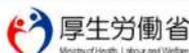
手の清潔

体の運動

十分な睡眠・休息

薬剤  
(体調管理)

次の方は避難所の事務局に申し出ましょう



妊娠中の方

マタニティマークをつけた妊婦さんにご配慮をお願いします。

産後の方・小さいお子さまをお連れの方

病気などで特別な食事の配慮が必要な方

妊産婦・乳幼児  
特殊食品

## 災害時の義歯喪失の食事や会話への影響

## 派遣栄養士が報告した「口腔保健」問題の質的解析

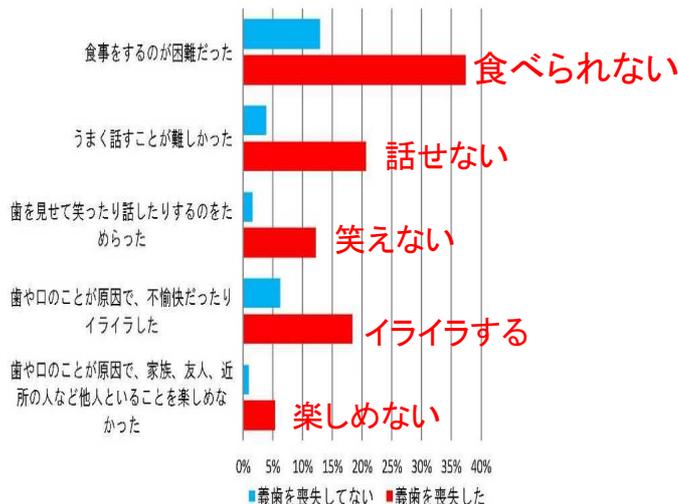
JDA-DATエビデンスチームによる東日本大震災 活動報告書 分析 (発災1か月～6か月後、n=599)

東日本大震災後の沿岸被災地域の調査において震災前から義歯を利用していた人758人

(131人) 17.3%

義歯を使用しているが喪失しなかった 82.7% (627人)

義歯を喪失した



飲み込めない

嚥下が困難で流動食・とろみ剤等食事形態の工夫が必要<sup>(19)</sup> むせでとろみ剤等が必要<sup>(8)</sup> 誤嚥<sup>(3)</sup> 30

噛めない

咀嚼力が弱く、きざみ食等が必要<sup>(10)</sup> 義歯の流失・不具合により、食量減少<sup>(8)</sup> 歯が無い方がいる<sup>(4)</sup> 22

食環境の変化

菓子の多食、齶蝕・肥満等の増加<sup>(15)</sup> 歯磨き等ができない<sup>(3)</sup> 18

口腔状況の悪化

口内炎の発生<sup>(11)</sup> 痰がからむ・口腔内乾燥<sup>(5)</sup> 16

その他

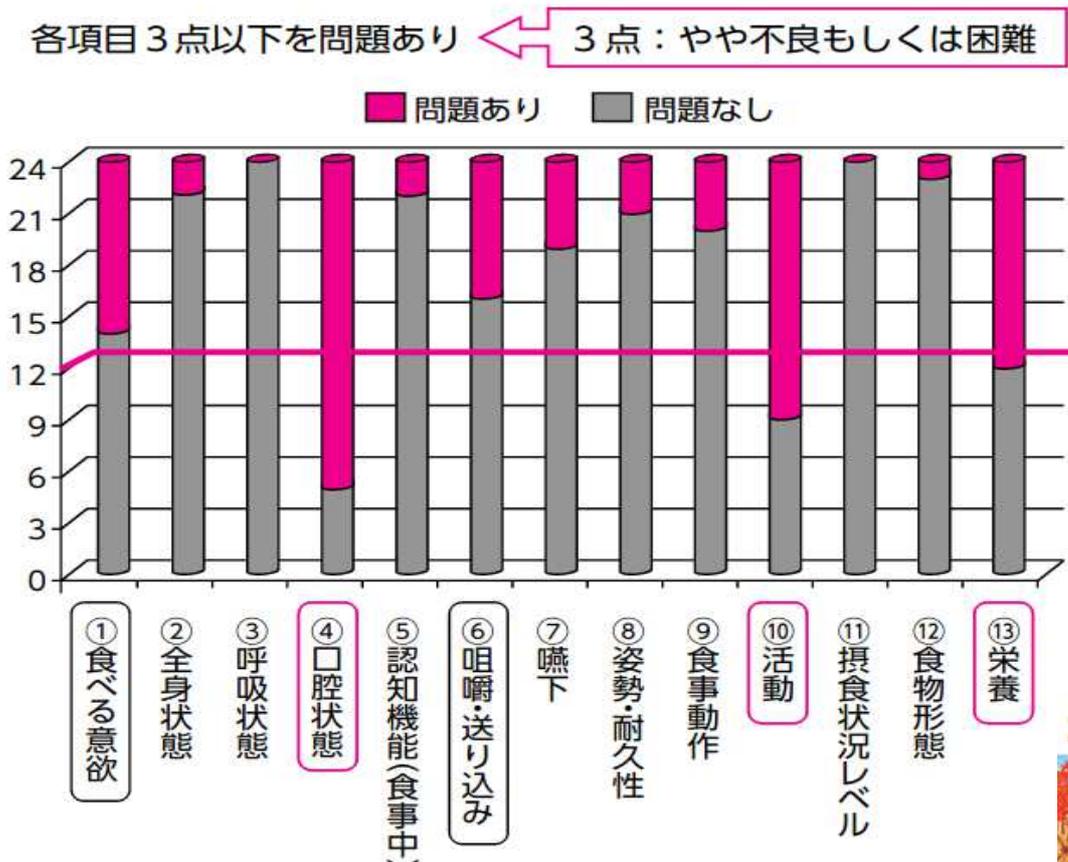
8

# 誤嚥性肺炎の予防に対する 災害時のTransdisciplinary approach

- 特にフレイル、障害者、高齢者に対する災害直後からの栄養支援が重要
- それぞれの支援が揃って、はじめて、安全に適切に栄養が確保できる



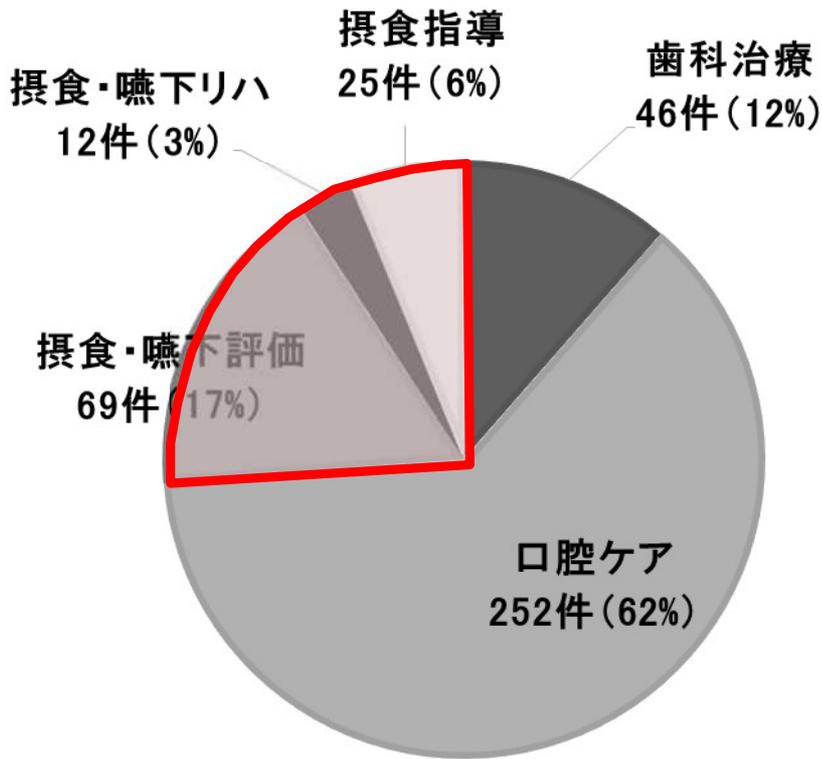
図2: 平成28年熊本地震後早期(2日~14日)におけるKTバランスチャートを用いた評価(n=24)



小山珠美(NPO法人口から食べる幸せを守る会), 震災による避難所での二次的合併を回避するKTバランスチャートを使用した包括的支援の実際, <特集>多職種で取り組む災害時の食支援, 地域保健 2017年11月号, 第48巻6号, 東京法規出版

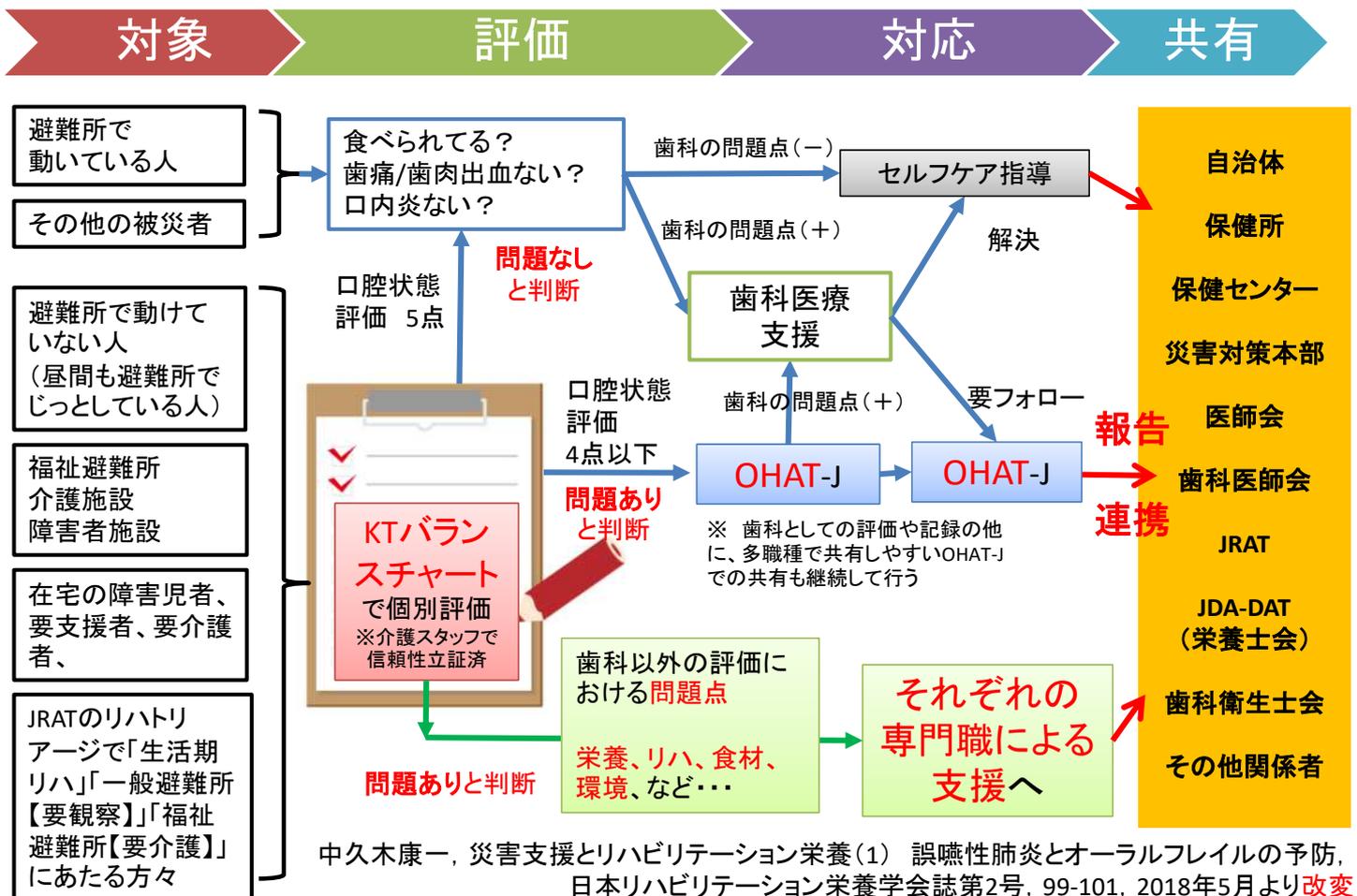


図3 南阿蘇地区における歯科支援活動実績



熊本地震後の南阿蘇地区において口腔機能支援を通じて多職種と連携した「食べる」支援活動の報告，  
日本災害食学会誌，Vol6(2)，66-76，2019

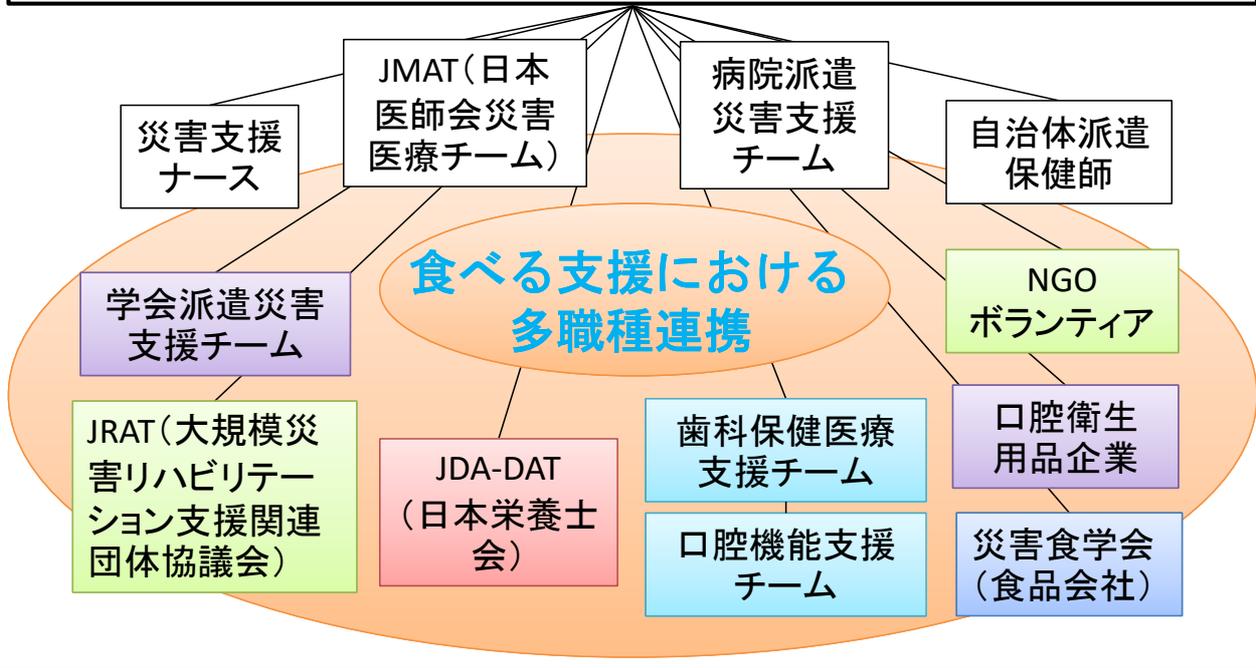
災害時要配慮者支援における個人アセスメント方針(歯科・提案)



# 災害時の連携

災害対策本部

災害医療コーディネーター  
DMAT／日赤／災害医療センター



「口腔保健・予防歯科学」医歯薬出版

Japan Association of Public Health Nurse Directors



全国保健師長会とは > こんな活動しています > 調査研究事業 > 入会のご案内 > 会員メニュー >

## 2019年度 災害時の保健活動推進マニュアル (地域保健総合推進事業)

災害マニュアル

### ■2019年 災害時の保健活動推進マニュアル (地域保健総合推進事業)

全国保健師長会では、地震のみならず豪雨災害等全国に頻発する自然災害の新たな課題への対応や関係法令・通知の改正により、平成29年度から地域保健総合推進事業として、災害時の保健活動の準備状況、被災市町村と保健所との連携状況等についてのインタビュー調査及びアンケート調査を実施し、その課題を反映させ、このたび、「大規模災害における保健師マニュアル」を大幅に改訂し、「災害時の保健活動推進マニュアル」と改め、保健師以外の保健衛生職員も活用できるよう作成しました。

また、「避難所日報」については、避難所状況シート、避難者状況シートを全国共通様式として最新版を掲載しました。なお、様式類については、各自治体で活用できるようエクセル・ワードシートとして提供いたします。(新たに「健康課題毎のチェック項目」を様式4 - 健康課題毎のチェック項目集として、エクセルシートにしました。各自治体の避難所等におけるアセスメントやマニュアル作成にご活用ください。)

[災害時の保健活動推進マニュアル](#) (10.7MB)

【様式】

- 医療情報記入様式:  
[災害診療記録](#) (344KB) \* 現在、「災害診療記録2018」が発表されています。  
(<https://www.j-speed.org/>・<http://www.jhim.jp/disaster/index.html>)
- 保健情報・保健活動情報記入様式:  
[避難所日報](#) (56KB)・[記載要領](#) (52KB) / [健康相談票](#) (108KB)・[経過用紙](#) (32KB) / [派遣元自治体活動報告書](#) (32KB) / [仮設住宅入居者・世帯調査票・健康相談票](#) (63KB)
- 応援・受援時活用様式:  
[被災地の基本情報・現地の状況概況](#) (40KB) / [保健医療活動チーム管内配置計画表](#) (25KB) / [応援派遣保健師のみなさま△](#) (36KB) / [災害に役立つ情報\(関係機関等ホームページ\)](#) (36KB)
- [健康課題毎のチェック項目集](#):  
[健康課題毎のチェック項目集](#) (78KB)

- 活動方針・体系図・年間計画
- ブロック活動
- 支部活動
- 代議員総会
- 理事会・拡大常任委員会・常任理事会報告
- 部会・委員会活動
- 要望活動
- 災害関係
- 全国保健師長会だより
- 講演会
- 日本保健師連協協議会
- 公衆衛生看護学会
- 40周年記念事業

発行  
2020年3月

## Ⅱ 各期における保健活動の概要(風水害・噴火災害編)【表6】

	避難勧告等発令時 準備体制の確立  (避難情報発令) 避難準備・高齢者等避難開始、 避難勧告、避難指示(緊急)	フェーズ0 初動体制の確立 (概ね災害発生後24時間以内)	フェーズ1 緊急対策 -生命・安全の確保- (概ね災害発生後72時間以内)	
		災害モードへの切り替え		
地域の概況	要援護者の避難・停電・雨音による情報伝達困難	人的被害・孤立者の救助・浸水・電気や交通等インフラの不全	被害の全容把握・生活用品の不足	
ニーズ	医療	◎傷病者の急増 ◎救命救急 ◎搬送	◎医療機能の低下 (治療・病床数・従事者・医薬品) ◎DMATの交代・他の医療チームの派遣 ◎救護所の設置・運営	◎医療機能の低下
	保健	◎避難所の設置・運営 ◎低体温症	◎従事者の帰宅困難 ◎生活環境の悪化	◎感染症の流行 ◎熱中症 ◎歯科・口腔衛生 ◎メンタルヘルス
	福祉	◎避難行動要支援者の避難 ◎従事者の帰宅困難	◎孤立者の安全確保	◎サービスの低下(施設・従事者) ◎福祉避難所の設置 ◎サービスの低下
保健医療活動チーム等の例		・DMAT(医療への被害程度によっては派遣無) ・日本赤十字社	・DHEAT ・DPAT ・JMAT ・その他の医療チーム	

### フェーズ2 応急対策 -生活の安定- (避難所対策が中心の時期)

フェーズ2 応急対策 -生活の安定- (避難所対策が中心の時期)	フェーズ3 応急対策 -生活の安定- (避難所から概ね仮設住宅入居までの期間)	フェーズ4 復旧・復興対策期 -人生の再建・地域の再建- (仮設住宅対策や新しいコミュニティづくりが中心の時期)	フェーズ5-1 復興支援期・前期 -復興住宅に移行するまで- (コミュニティの再構築と地域との融合)	フェーズ5-2 復興支援期・後期 -新たなまちづくり-
避難所の利用者・退出者の増加・ニーズの顕在化	避難者の移動・帰宅困難な避難者		復興・復旧対策の実施	
◎地域医療への移行 ◎巡回診療	◎医療機能の回復			
◎食生活・栄養の偏り ◎生活不活発病 ◎慢性疾患の治療継続	◎保健医療活動チームの配置・調整・会議開催	◎メンタルヘルス ◎孤立	◎保健医療活動チームの活動終了	◎ソーシャルキャピタルの醸成
◎福祉避難所の運営	◎サービス調整			
・保健師等チーム ・JDA-DAT	・こころのケアチーム ・JRAT ・JDAT	・保健師等チーム ・こころのケアチーム		

災害時の保健活動推進マニュアル(P. 21・22)



# Japan Dental Alliance Team (JDAT、日本災害歯科支援チーム)

## 【目的・趣旨】

JDAT (Japan Dental Alliance Team : 日本災害歯科支援チーム) は、災害発生後おおむね72時間以降に**地域歯科保健医療専門職により行われる**、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした**公衆衛生活動を支援することを通じて**被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的としている。

# JDAT(平常時～災害時)

## 平常時

- 研修と、体制整備
- 地域の災害対策や防災訓練に積極的に参画

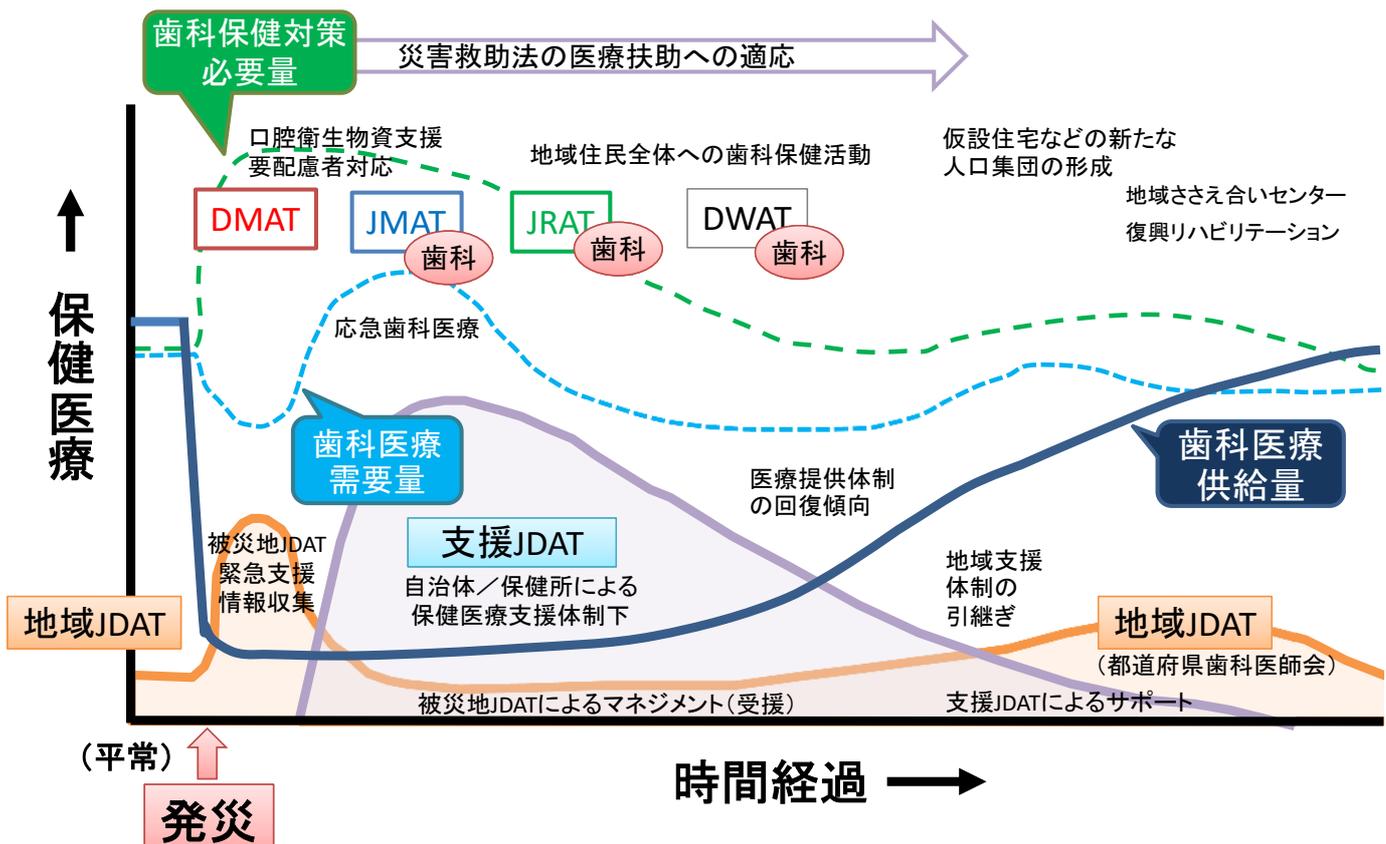
## 被災時

- 地域の情報を繋ぐ
- 必要時は支援チームの派遣要請を提言
- 現地支援活動コーディネーターとして受援

## 災害時

- 緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生生活活動を支援
- JMATなどの医療チームの歯科との連携

## 災害時の地域におけるJDATの連携(地域×支援)



## 5) 歯科保健・医療対策

以下、歯科保健・医療対策について、まず、高リスクとなる要件を【歯科保健・医療対策のチェック項目と症状】として示し、次に【保健衛生部局・保健所本部における対策の立案】、その次に個人々人への具体的な【保健指導】として記載する。【チェック項目】に多くチェックが付く場合は、優先的に対策を進めるべきである。

### 【歯科保健・医療対策のチェック項目と症状】

	チェック項目
歯科保健・医療対策	<input type="checkbox"/> 口腔衛生や口腔機能の低下に配慮が必要な対象者がいる (配慮が必要な者：乳幼児・妊婦・後期高齢者・障害児者・要介護者・糖尿病等の有病者)
	<input type="checkbox"/> 飲料水・生活用水・洗口場が不十分である
	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き剤、コップ、義歯洗浄剤、義歯ケースなど資機材が不足している
	<input type="checkbox"/> 口腔清掃状況が不十分である
	<input type="checkbox"/> 歯痛や口内炎を訴える者、食事摂取が不自由な者がいる
	<input type="checkbox"/> 歯科診療所、巡回歯科チームなどの歯科保健医療体制がない

#### 【保健衛生部局・保健所本部における対策の立案】

- ・避難所・福祉避難所、高齢者障がい者施設等の環境整備（水、洗口環境等）を行い、口腔ケアに必要な医薬品・衛生物品、資機材を調達する。
- ・避難所・福祉避難所、高齢者障がい者施設、保育園、幼稚園、学校等に対する口腔衛生教育を行い、口腔ケア行動のための普及啓発を行う。
- ・応急歯科診療、歯科診療医療班（巡回歯科診療含む）の活動との連携を図る。
- ・口腔機能維持、誤嚥性肺炎のリスクアセスメント、栄養士や言語療法士等と協働した摂食・嚥下機能サポートを行う。

#### 【保健指導】

- ・避難所等では、水の使用制限や食生活の変化、劣悪な生活環境等により、体力低下等でインフルエンザ、風邪等の呼吸器疾患や誤嚥性肺炎、むし歯、歯周病の発生、悪化等様々な疾患にかかり易くなるため予防及び口腔機能向上を含めた口腔ケア支援を行う。
- ・時間の経過とともに変化する被災者の状況に伴って起こりうる歯科保健医療福祉等のニーズを予測し、被災者の目線に立って支援する（表 11、図 20 参照）。



全国保健師長会  
災害時の保健活動  
推進マニュアル  
(令和2年3月)  
P57

表11 歯科保健におけるフェーズ分類と歯科的問題点

フェーズ*	時期 (目安)	歯科的問題点	住民の声
0	発災～ 24時間	・口腔衛生用品不足	・逃げるのに精一杯で義歯を持ち出せなかった ・義歯ケースがなくなった ・逃げる時に転んで顎を打って痛くて食べられない ・歯を磨きたくても水がない ・歯を磨くことを忘れていた 等
1	24～ 72時間以 内	・歯科救護 ・義歯紛失 ・外傷等による歯牙損傷	
2	4日目 ～1か月	・口腔衛生状態悪化 ・義歯清掃管理不良 ・口腔機能低下 ・食事形態による食べ方支援が必要 ・感染予防 ・口腔ケア啓発	・支援物資に子ども用の歯ブラシが見つからない ・歯が痛いけど診てくれる歯医者がない ・歯を磨いていないので歯肉が腫れてきた ・口内炎が痛い ・水が冷たくて歯を磨きたくない ・予約していた主治医と連絡が取れない ・お菓子を好きなだけ食べるが、避難所で注意しにくい ・喉がよく渴いて痛い、ほこりが多くて咳がよくでる ・洗面所が遠いので行けない ・義歯を外した姿を他人に見られたくないので、入れたまま歯磨きをしている ・災害後一度も義歯を外していない 等
3	1か月 ～6か月	・口腔ケア ・口腔機能向上支援の継続	・震災前は歯ブラシ・歯間ブラシで手入れをしていたが、災害後はする意欲がなくなった ・応急仮設住宅がかりつけの歯科医院から遠いので通院できなくなった ・子どものむし歯は気になるが歯科診療所が遠い ・お弁当の冷たい揚げ物などが固くて食べられない等
	6か月～	・継続した歯科健康相談・健康教育等	・地元の歯科診療所の診療が開始されたが、医療費のことが心配でなかなか受診できない ・応急仮設住宅からの交通機関が不便で、かかりつけだった歯科医院の受診は難しい ・予防は大切と思うが、今後の事が心配で歯を磨く意欲がなくなった 等



全国保健師長会  
災害時の保健活動  
推進マニュアル  
(令和2年3月)  
P58

図20 歯科保健活動のポイント



全国保健師長会  
災害時の保健活動  
推進マニュアル  
(令和2年3月)  
P59



## アンケート「災害体制の現状と地域における連携体制の構築に向けて」、47都道府県歯科医師会，2021年10-11月

### 協定ほか

	行政	他歯科団体	他医療団体
あり	44	42	23
なし	3	5	24

### 合同研修

	行政	他歯科団体	他医療団体
あり	36	19	13
なし	11	28	34

# 災害対応

直接支援  
被災者支援

支援者支援  
間接支援

災害支援  
緊急援助

×

地域支援  
地域防災

体制・準備



お近くの方々にも  
お伝えください。  
配布等に  
承諾は

いつもの生活を  
取りもどす！



いつもの生活を  
続けられる  
準備をしよう！

熊本地震で被災された皆さまへ

いつもの生活を  
取りもどすための  
役立つ情報まとめ

政府からのお知らせ

2016年4月28日発行

2016年5月12日更新

2016年5月18日更新

誰にでも  
いつでも  
健康で幸せに生活する  
機会のある社会を

## 災害対策のキーワード

- 普段通り
- 普段をどこに設定するのか
- いかに普段通りをキープするのか



災害時の清潔・健康ケア情報

災害時への備えや、災害時の清潔&健康ケア

動画やPDFファイルはご自由にダウンロードしてご利用いただけます。

災害時の清潔・健康



災害時のための清潔

災害時のための清潔&健康ケアについて、災害時の「手や指の清潔ケア」と「高年齢者や体が不自由な方、小

**災害時のための清潔&健康ケアBOOK**

災害時のための清潔&健康ケアについて、災害時の「手や指の清潔ケア」と「高年齢者や体が不自由な方、小

本冊では、被災地では「呼吸器系の病気が」

被災地では、被災地では「呼吸器系の病気が」

被災地では、被災地では「呼吸器系の病気が」

**非常時持ち出し品チェックリスト**

非常時や災害発生時の準備として、家族全員が持ち出し品を確認してください。

持ち出し品	持ち出し品	持ち出し品
現金(現金)	歯ブラシ	歯磨き粉
現金(現金)	歯ブラシ	歯磨き粉
現金(現金)	歯ブラシ	歯磨き粉

**life.love. LION 防災**

いざという時にあてない 災害時のための清潔&健康ケアBOOK

災害時は、避難所等に滞在することが多い。災害時のための清潔&健康ケアについて、災害時の「手や指の清潔ケア」と「高年齢者や体が不自由な方、小

災害はいつやってくるかわかりませ

**1. 家庭内備蓄のすすめ (ローリングストック)**

いつ起こるかわからない災害に備えて、必ず家庭に備蓄しておきましょう。

**2. 避難生活での水の不足など、オーラルケア**

避難所生活や水不足などで、オーラルケアになると、ムシ歯や歯肉病・感染症などのリスクがあります。

**3. お口の清潔**

避難所生活や水不足などで、オーラルケアになると、ムシ歯や歯肉病・感染症などのリスクがあります。

災害時に忘れてはならないのは **お口の健康** です

「お口は感染症の入り口です」

避難所生活や水不足などで、お口のケアが不足すると、お口の健康が保てず、感染症の入り口になります。お口の健康を保つためには、お口のケアが重要です。

高齢者や体が不自由な方がいるご家庭の準備と災害時のケア

避難生活でも、入れ歯をきれいに保つことが重要です。入れ歯のケアが不足すると、お口の健康が保てず、感染症の入り口になります。

小さな子どもがいるご家庭の準備と災害時のケア

子どもは歯の発達期にいます。避難所生活や水不足などで、お口のケアが不足すると、お口の健康が保てず、感染症の入り口になります。

避難生活でののお口のケア

●水が不足している時のお口のケア

歯ブラシがない時、ハンカチやティッシュで歯の汚れをとるのも効果的です。

高齢者や体が不自由な方がいるご家庭の準備と災害時のケア

避難生活でも、入れ歯をきれいに保つことが重要です。入れ歯のケアが不足すると、お口の健康が保てず、感染症の入り口になります。

小さな子どもがいるご家庭の準備と災害時のケア

子どもは歯の発達期にいます。避難所生活や水不足などで、お口のケアが不足すると、お口の健康が保てず、感染症の入り口になります。

避難生活でののお口のケア

●水が不足している時のお口のケア

歯ブラシがない時、ハンカチやティッシュで歯の汚れをとるのも効果的です。

高齢者や体が不自由な方がいるご家庭の準備と災害時のケア

避難生活でも、入れ歯をきれいに保つことが重要です。入れ歯のケアが不足すると、お口の健康が保てず、感染症の入り口になります。

小さな子どもがいるご家庭の準備と災害時のケア

子どもは歯の発達期にいます。避難所生活や水不足などで、お口のケアが不足すると、お口の健康が保てず、感染症の入り口になります。

**方**

覚えてください、防災にオーラルケア。

災害が最大の災害時には、まず最初に食料や水、毛布などの必需品が求められます。「1日や2日、歯を磨かなくても大丈夫。(それくらい我慢できる。)」と思われるかもしれません。しかし、「発酵が早い」というような気分的なこと以外に、お口を衛生的に保つことは重要な意味があります。

■ 災害時、歯みがきが不十分だと身体に影響を及ぼします。 ■ 災害時の備えに、液体ハミガキと歯ブラシを準備ください。

健康は、お口から。災害時の備えにオーラルケアを。

SUNSTAR

**歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります!**

肺炎を防ぐために歯みがきを!

入れ歯をきれいに保って肺炎を防ぎましょう

歯ブラシがないとき

だ液を出す工夫を

水が少ないときの歯みがき

監修: 神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学 足立平先生  
提供: 一般財団法人 サンスター財団、サンスターグループ

SUNSTAR

# Mouth & Body Topics VOL.3

健やかな口 健やかな身体

## 人々の健康を口から守る ～災害時の誤嚥性肺炎予防の事例から～



**中久木 康一**  
東京歯科大学大学院 歯学総合研究科  
歯周病科 助教授



**足立 了平**  
神戸歯科大学 歯学部  
口腔保健学科 教授

2011年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2012年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2013年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2014年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2015年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2016年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2017年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2018年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2019年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2020年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授

2011年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2012年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2013年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2014年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2015年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2016年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2017年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2018年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2019年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授  
2020年 歯学部 歯学専攻 歯周病学講座 准教授

### 炎について

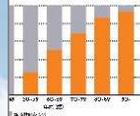
歯周大学部 口腔保健学科 教授

することができても、災害時などで歯みがきや入れ歯の清掃などの  
けにできない場合、口腔衛生状態の悪化から身体全体に影響が及ぶ場合があります。  
高「誤嚥性肺炎」です。過去の大きな災害では、誤嚥性肺炎で亡くなる方が増加しました。  
口腔衛生と肺炎が関係するのでしょうか。

### なぜ?

歯みがき不足の長や歯垢の蓄積、口腔内  
に入り込み、歯周炎や歯肉炎の原因とな  
り、炎症を起して肺炎を起すことにな  
ります。

人の周囲の空気中にあり、誤嚥した  
くなる方が多いです。歯周炎  
による肺炎発症率



肺炎発症率 (%)

の割合が多くなる傾向にあり、誤嚥性肺炎  
の原因です。

高齢者に誤嚥が起きる原因は、正しく歯を磨く  
歯垢や歯石の蓄積による歯肉炎(歯肉が腫れる)の  
低下と、誤嚥が起きると、誤嚥したものを  
口腔内から消化管の低下により、誤嚥した

また、口中には常に約100種類の細菌が存在し  
ていますが、口腔内細菌叢は、歯周病や歯肉炎  
が起ると、口腔内細菌叢が変化し、肺炎の原因  
が起ると、口腔内細菌叢が変化し、肺炎の原因  
が起ると、口腔内細菌叢が変化し、肺炎の原因

また、口中には常に約100種類の細菌が存在し  
ていますが、口腔内細菌叢は、歯周病や歯肉炎  
が起ると、口腔内細菌叢が変化し、肺炎の原因  
が起ると、口腔内細菌叢が変化し、肺炎の原因

また、口中には常に約100種類の細菌が存在し  
ていますが、口腔内細菌叢は、歯周病や歯肉炎  
が起ると、口腔内細菌叢が変化し、肺炎の原因  
が起ると、口腔内細菌叢が変化し、肺炎の原因

### 災害時に誤嚥性肺炎が起るメカニズム



災害時に誤嚥性肺炎が起るメカニズム

### 「防災にオーラルケア」啓発活動紹介

歯みがき、お口のケアは  
あなたの命を守ります！

<p><b>歯垢を溜めずに 歯垢を落とす</b></p> <p>歯垢が溜まると、歯肉炎や歯周炎の原因になります。歯垢を落とすことで、歯肉炎や歯周炎を防ぐことができます。</p>	<p><b>入れ歯をきれいに 歯垢を落とす</b></p> <p>入れ歯が汚れると、口腔内細菌叢が変化し、肺炎の原因になります。入れ歯をきれいにすることで、肺炎を防ぐことができます。</p>
<p><b>歯垢が少ないとき</b></p> <p>歯垢が少ないときは、歯肉炎や歯周炎のリスクが低くなります。</p>	<p><b>歯垢が多いとき</b></p> <p>歯垢が多いときは、歯肉炎や歯周炎のリスクが高くなります。</p>

災害時に誤嚥性肺炎が起るメカニズム

災害時に誤嚥性肺炎が起るメカニズム

災害時に誤嚥性肺炎が起るメカニズム

**SUNSTAR**

防災にオーラルケア、ウェブサイト  
http://jpsunstar.com/bousai/top.html

2017年発表

医歯薬出版

**歯科医院の  
防災対策ガイド**

中久木 康一

医歯薬出版株式会社

災害歯科保健医療  
標準テキスト  
2021年12月発刊！

2015年6月15日発刊  
一世出版  
2000円！

2016年7月10日発刊  
クインテッセンス出版  
1800円！

砂書房

**歯科における  
災害対策** 防災と支援

編者 中久木 康一

砂書房

**災害時の  
歯科保健医療対策**

連携と標準化に向けて

編者 日本災害時公衆衛生学委員会  
中久木 康一 東京歯科大学歯学部  
北原 勉 神戸歯科大学歯学部  
安藤 謙一 徳島歯科大学

日本歯科医師会  
日本歯科歯工会  
日本歯科技工士会 推薦

一世出版

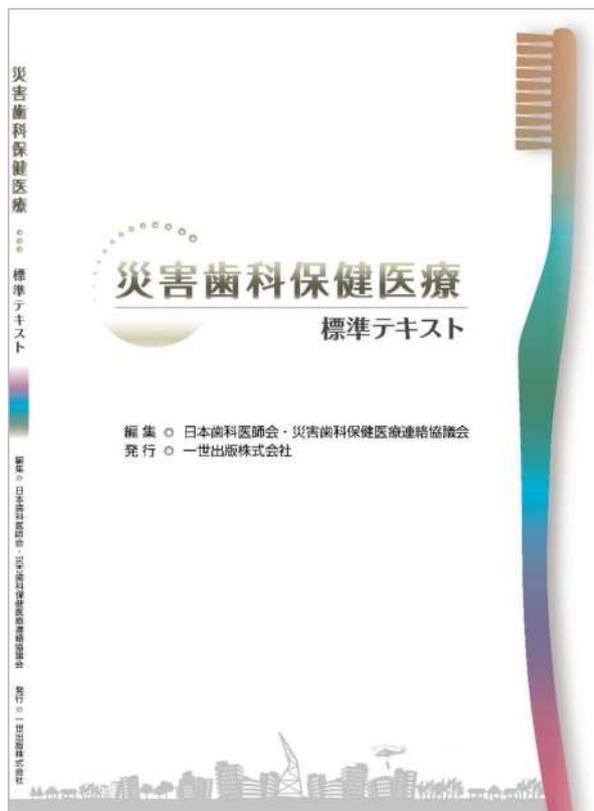
2018年2月1日発刊  
医歯薬出版 7,200円

**災害歯科医学**

編者 中久木 康一  
編者 中久木 康一

Disaster Dentistry

医歯薬出版株式会社



**2021年12月24日発売！**  
**一世出版**  
 本体2,900円(税込み 3,190円)

Contents	
はじめに	
第1章 災害歯科保健医療	
1. 災害歯科保健医療概論	12
2. 災害歯科支援チームの実現に向けて ～関係機関・団体における連携の重要性～	20
3. 保健医療支援におけるロジスティクス担当者の役割	28
4. 災害時における歯科医師会の対応	34
5. 災害時の歯科保健医療活動 ～目的、評価、体制～	40
第2章 国における災害対応	
1. 大規模災害時における政府の初期対応について	50
2. 災害時における保健医療の対応	54
3. 厚生労働省における災害医療体制	62
4. 防衛省・自衛隊における災害派遣活動	70
第3章 活動における連携・共有	
1. 災害時の歯科保健医療活動 ～歯科支援における役割分担、多職種での連携～	76
2. 日本医師会の災害対応	82
3. サイコロジカル・ファーストエイド/心理対応会制度：PFAー	96
4. 歯科医師のための災害復興法学的なまとめ	104
第4章 災害時における身元確認	
1. 歯科における身元確認体制	114
2. 警察における大規模災害時等の多数遺体搬送について ～歯科情報による身元特定の有効性～	126
3. 海上保安庁における歯牙鑑定	128
参考資料	
・ JDAT 目的、趣旨	133
・ 施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント表(車両・派遣)	134
・ 歯科保健医療支援アクションカード	136
・ Q&A 集	142
・ 略語/用語集	145

<http://eagerdental.jimdo.com/>

nakakuki@biglobe.jp

@女川温泉ゆぼっぼ